with コロナ時代と部活・サークル/1 年生問題

～交流の場はどうなる？～

班長:木﨑拓真　副班長:久米山幹太　資料:広兼靖也
渉外:米田有希　記録:渡辺莉緒　オンライン調整:北口立大
指導教員:谷口守　TA:清水宏樹

1. はじめに

1.1 部活・サークル/1 年生の現状

新型コロナウイルスにより、私たち大学生にも様々な影響が及んだ。全国的に見ても、部活動やサークルの多くが対面での活動を禁止され、活動の休止、またはオンラインでの活動を余儀なくされた。例年 4 月～5 月の入学直後に行われる新歓も今年は中止となってしまい、部員の確保に苦しんでいる団体も多くあると考えられる。 よって、部活動やサークルに所属できず、また、春学期はほとんどの大学でオンライン授業が行われたことにより、交友関係が広がらない 1 年生の数は例年よりもかなり多いと思われる。そこで、学生たちの交流の場となっている部活・サークルに対して、大学側はどのような対策をとってきたのだろうかと私たちは考えた。

1.2 筑波大学の状況

茨城県でも緊急事態宣言が発令された 4 月頃、筑波大学では課外活動の全面禁止、さらには敷地内の立ち入り禁止要請が出された。この影響を受け、各部活・サークルはそれまで行って来た活動や新歓を停止せざるを得なくなった。5 月には緊急事態宣言が解除されたものの、再流行の対策として 4 月からの方針を継続する旨が発表された。その後 7 月には感染者も大幅に減少していたため、8 月下旬から様々な活動を再開できる見込みがあるとの発表をしたが、第 2 波の訪れにより夏休み中に活動再開許可が降りることはなかった。そして夏休み明けの 10 月、ついに部活・サークルを再開する許可が降りたが、これにも多くの条件が課された。 その条件について細かく書いてあるのが、10 月 1 日に公開された「筑波大学課外活動における団体活動開始ガイドライン」である。活動開始のルールは主に、団体活動開始届を提出すること、感染防止対策・健康管理・3 密回避を心がけて活動すること、感染防止対策としては手指の消毒、マスクの着用等があり、会食・懇親会も未だ禁止されている。また、健康管理のために健康観察記録や活動履歴を提出することが求められている。3 密回避のためには、活動人数を減らす、可能な限りオンラインで活動する等の対策が挙げられている。

1.3 他大学の状況

1.3.1 施設の利用可否の状況

文部科学省の調査から、全国の大学の対応を見ることができる。[1)]

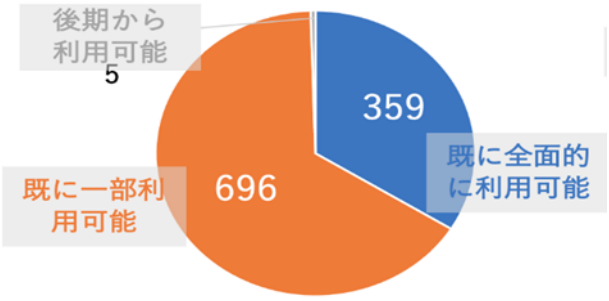

図 1 施設の利用可否の状況（大学における後期等授業の実施方針等に関する調査より）

後期から、多くの大学で一部利用可能を含め施設利用が可能となる予定であった。全面的に利用可能とする学校は 3 割程度で、一部を制限して利用を可能とする学校が多く見られる。

制限内容としては以下のように設定されており、利用目的による制限や許可・申請制などの手続きが多くなっている。具体的な制限の内容とそれを実施している学校の数は次の通りである。

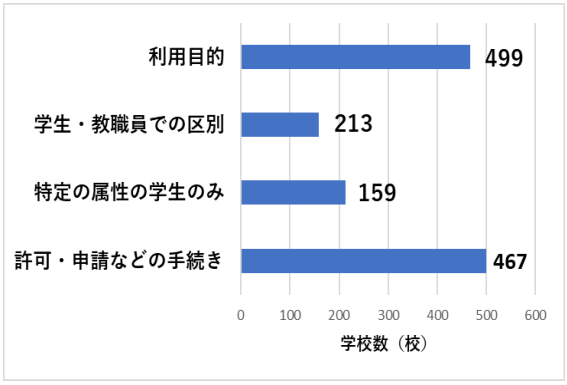

図 2　具体的な制限の内容と実施している学校の数（大学における後期授業等の実施方針に関する調査より）

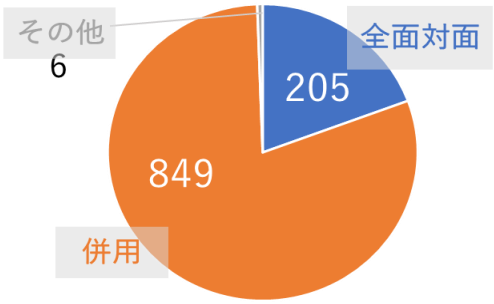

図 3　後期授業の方針(大学における後期等授業の実施方針に関する調査より）

後期授業では多くの学校が対面授業を実施する予定であるとの回答が得られた。また、オンライン授業と対面授業を併用して授業を行う学校が約 8 割と最も多くなっている。

1. 3. 3 後期授業の方針

近隣の国立大学の対応 は以下の表の通りである。

表 1　近隣の国公立大学の対応

	課 外 活 動 禁止期間	学内施設の利用開始	活動再開条件
茨城大学	4/14~7/9	10/19~	10/12~15 に開催された「新型コロナウイルス感染症感染防止対策研修会」に参加、対策に取り組むこと [茨城大学, 日付不明]
千葉大学	2/28~8/6	10/1~	感染予防策を踏まえた「活動再開計画書」を大学が審査、基準を満たしていると判断されること [千葉大学, 2020]
東京大学	3/26~8/1	8/6~	特になし
筑波大学	4/9~	10/1~	「団体活動開始届」を提出すること、感染防止対策・健康管理・三密回避に努めること [筑波大学, 2020]

1.3.4 関西大学のクラスターについて

図 4　関西大学のこれまでの対応

関西大学では 9 月 21 日から規制が緩和され、一部課外活動が認められていた。規制緩和後も、練習試合や交流会および合宿・宿泊を伴う活動は認められていなかった。 10 月 16 日～18 日にかけての新型コロナウイルス感染者が集団感染であるとの判定を受けた。約 100 名の濃厚接触者が PCR 検査を受け、同じサークルに所属する 23 名の陽性を確認した。10/16~24 までの間、特定の学科・学年に所属する学生（1,914 名）に対して自宅待機が通知された。[2)]

2. 問題意識

部活・サークルの対面活動やオンライン活動の是非、新歓やオンライン活動の動向、1 年生の入会や交流について実態はどのようになっているのかと私たちは考えた。また、部活・サークルの活動、 1 年生が部活・サークルに向き合う方法はないのかと私たちは考えた。

3. 予備調査

私たちはまず、実態をある程度掴むために予備調査として部活・サークル代表者と 1 年生にオンラインで聞き取り調査を行うことにした。部活・サークル代表者に対しては活動の実態を、1 年生に対しては部活・サークルへの参加と交流の実態を聞き取った。

部活・サークルに対しての予備調査の概要は以下のとおりである。

表 2　部活・サークル対象予備調査概要

質問事項	回答
活動再開時期	・活動している ・まだできていない ・オンライン活動
再開前の活動	・活動できていない ・外部の施設で活動した ・zoom や teams を使ってオンラインで行った。
再開後の活動	・大学の活動条件を守って活度 ・今まで通りの活動ができそう ・オンラインも用いている
新歓の方法	・SNS の利用 ・zoom での企画
引き継ぎについて	・既に引き継いだ ・2 年生が中心なので問題ない

1 年生に対しての予備調査の概要は以下の通りである。

表 3　1 年生に対する予備調査概要

質問事項	回答
入部・入会した部活・サークルを知ったきっかけ	・Twitter ・学生団体紹介紙
部活・サークルへの入部・入会の決め手	・もともと興味があった ・活動に触れてみて（体面の体験会,オンラインでの説明会,ライブ等）魅力を感じたから
先輩や同期との交流は持てているか	・オンラインの mtg で交流 ・同期との交流があまりない
部活・サークル活動をする上で困っていることはあるか	・参加できる活動が少ない ・オンラインで顔を合わせるだけでは覚えられない
部活・サークルに入らなかった理由は何か	・興味がない ・人と一緒に入ろうと思っていた ・Twitter をやっておらず情報が得られなかった
部活・サークルに入っていないためのデメリットはあるか	・先輩と繋がれない ・休みの日にやることがない,家にいることが多くなる ・特にデメリットを感じない

4. 本調査

私たちは予備調査からさらに実態を知ることによって新入生を含めた新たな活動や新歓を行うことができるのではないかと考え、部活・サークルと 1 年生の双方の実態をより詳しくアンケートによる本調査を行うことにした。部活・サークルには活動の変化や新歓迎の効果、1 年生には部活サークル活動の満足度や適応度についても聞くことにしている。部活・サークルに対しての本調査の概要は以下のとおりである。

表 4　部活・サークル対象本調査概要

調査名	部活・サークル活動の現状と 1 年生の動向に関する実態調査
調査対象	筑波大学が管轄している学生団体である課外活動団体（135 団体） 一般学生団体（115 団体）　計 250 団体
調査目的	コロナ禍における部活・サークル活動の実態把握
配布・回収方法	芸術サークル連合会、文化系サークル連合会等から メールで代表者にアンケートを送付
配布実施期間	2020 年 11 月中旬
回収部数	200 部程度

部活・サークルに対しての本調査の質問項目と目的の概要は以下の通りである。

表 5　部活・サークル対象本調査　質問項目と目的

質問項目	目的
対面活動の再開時期と現在の活動内容	コロナ禍でのサークル活動の現状の調査
再開していない場合、その理由	未だ残るコロナウイルスの影響の調査
活動規制中の活動内容	各サークルの活動の規制下での工夫
10 月の規制緩和後と従来の活動の変化	コロナ前後の比較から具体的な 変化の把握
新歓の実施方法とその効果	部活・サークル内での新歓の状況と 1 年生との交流の状況を調査

1 年生に対してのアンケートの概要は以下の通りである。

表 6　1年生対象本調査概要

調査名	筑波大学の 1 年生への部活・サークルに対する意識調査
調査目的	コロナ禍における部活･サークル活動が 1 年生にとってどのような立ち位置となっているか明らかにする
配布・回収方法	筑波大学の 1 年生に SNS を通じてアンケートを送付する
配布実施期間	2020 年 11 月中旬以降
回収部数	200 部程度

1 年生に対しての本調査の質問項目と目的の概要は以下の通りである。

表 7　1年生対象本調査　質問項目と内容

質問項目	目的
知った手段	1 年生が部活・サークルに入るまでの経緯を調査
どういう新歓に参加したか	
入った決め手	
9 月以前と 10 月以降の部活･サークル活動の満足度	課外活動規制の緩和前後で 1 年生は部活・サークル活動をどう思っていたかを調査
部活･サークル内での先輩や同級生との交流度合い	
部活･サークルへの適応度	
現時点の部活･サークルに入る意思	部活・サークルに入らなくてよいと決めた 1 年生の経緯を調べる
新歓に参加したかどうか	
現時点で部活･サークルに入っていない理由	
現時点で交流しているのはどういう人か	部活・サークルでない人間関係にどういうものがあるかを調べる

5. 最終発表に向けて

部活･サークルに対して活動方法の変化､新歓の方法､SNS の活用方法、1 年生に対して部活・サークルに参加した理由や方法、同級生や先輩との交流の満足度をアアンケートで知ることによって最適な形態の部活・サークル活動や 1 年生との交流を深めるための提案の材料が得られると考えている。

6. 謝辞

今回演習を進めるにあたり、担当教員の谷口守先生、TA の清水宏樹さんにご協力をいただきました。この場を借りて感謝を申し上げます。

7. 参考文献

1)文部科学省. (2020 年 9 月 15 日). 大学・大学院・高専に関する情報. 参照先: 文部科学省: https://www.mext.go.jp/content/20200916-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf

2)関西大学. (2020 年 10 月 18 日). 本学における新型コロナウイルス感染者について (報告) . 参照先: 関西大学: https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/pr/news/2020/10/post_5360.html

3)茨城大学. (日付不明). 新型コロナウイルス感染症に係る本学の取り組み. 参照先: 茨城大学: https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/covid19/measures/index.html

4)関西テレビ放送. (2020 年 10 月 21 日). 大学のサークル活動でクラスター発生　学生 1900 人を自宅待機に. 参照先: 関西テレビ放送　カンテレ: https://www.ktv.jp/news/articles/12e3d6fb_d8bb_4113_8b78_09b71c5bc164.html

5)千葉大学. (2020 年 10 月 5 日). ニュース・イベント情報. 参照先: 千葉大学: https://www.chiba-u.ac.jp/others/topics/2020covid-19/post_13.html

6)全国大学生活協同組合連合会広報調査部. (2020 年 5 月 1 日). 「緊急！大学生・院生向けアンケート」大学生解答速報. 参照先: 全国大学生かつ共同連合組合連合会（全国大学生協連）: https://www.univcoop.or.jp/covid19/enquete/pdf/link_pdf02.pdf

7)筑波大学. (2020 年 10 月 1 日). 筑波大学課外活動における団体活動開始ガイドライン. 参照先: 筑波大学課外活動（サークル等）: http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/unions/pdf/circles-guideline-20201001.pdf

8)東京大学. (日付不明). 新型コロナウイルス感染症に関連する対応について. 参照先: 東京大学: https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/general/COVID-19.html

9)筑波大学ホームページ　http://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster/covid-19-list.html

10)NHK 新型コロナウイルス特設サイト https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus